

2026年度(令和8年度)学校評価自己評価表

校番 301	福山市立鞆の浦学園
最終更新日	2026年(令和8年)4月1日

I 福山市

めざす姿	すべての子どもたちが、自分自身の成長を実感できる学校教育の実現
------	---------------------------------

II 自校

<p>前年度学校運営協議会(学校関係者評価)の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校が進めている取組内容については、概ね肯定的評価をいただいた。 ・子どもの成長のため義務教育学校ならではの取組を積極的に進めていく。 ・子ども自身が目指す夢や目標、未来への足がかりを掴むために、企業・産業連携、外部講師など、早期に本物の社会を経験する教育活動を位置付ける。
--

<p>学校教育目標</p> <p>郷土福山を愛し、心身ともにたくましく意欲を持って主体的に学ぶ子どもの育成 ～ふるさとの自然、人、歴史、伝統、文化に触れながら、学びをつなぎ深める～</p>
--

<p>現状</p> <p><子ども></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で勉強の計画を立てて、進んで勉強をしている。(前期89%、後期70%) 授業では、「なぜだろう」「やってみたい」と思う。(全体80%) ・鞆学では、主体的に探究学習に取り組んでいる。(全体84%) ・自分のよさは、まわりの人から認められていると思う。(全体88%) ○互いに認め合い、学び合う子どもが多い一方で、子どもが自ら学ぶ目的をもち、粘り強くやりきる力に課題が見られる。 ○「幸せの道」について、学園会や学級・委員会で考える時間を積極的に各日することで、安心して学べる学園になってきている。 <p><授業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに対してじっくり話を聞き、考える手助けができています。(20%) ・子どもの関心に合わせ、人やもの、場などの機会を提供できている。(20%) ○子どものつまずきに関心をもち、教材研究を行っているが、教科の面白さを実感したり、子どもの考えを支援する環境づくりを整えたりするまでには至っていない。
--

<p>育成する力 資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題発見・解決能力 ・情報活用能力 ・コミュニケーション能力 ・郷土愛 	<p>めざす子ども像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物事を多面的に見たり、これまでの経験や知識を活用したりする中で、新たな課題を発見することができる。 ・多様な他者と協働したり、よりよい解決方法を選択したりすることで目的に応じた納得解を導き出したり実行したりすることができる。 ・適切かつ効果的な情報を収集できる。 ・収集した情報を分類・整理・比較・関連付けて、目的や意図に応じて適切かつ効果的にまとめることができる。 ・多様な他者を相手とし、情報と関連付けてより効果的な方法で発信できる。 ・多様な他者と協働することで新たな考えを創造し、適切かつ効果的な解を導き出すことができる。 ・鞆のよさや課題を理解した上で、解決策を考えることができる。 ・世界的な視野で、鞆のよりよい町づくりに貢献できる。
--	--

<p>研究</p> <p>テーマ</p> <p>内容等</p>	<p>「教科・学年の枠を超えた9年間の一体的な教育内容と教育体制の確立」 ～「探究」の世界にどっぷりつかるとなげろ!発信する!～</p> <p>個別最適な学びと協働的な学びを推進し、学ぶ目的と意欲が高まる授業の探究 「鞆学」「自立・生単」を軸に、子どもの学びと体験がつながる授業を探究</p> <p>学びの土台</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と家庭の学習・生活を繋ぎ、全ての活動に根づく主体性と責任感 ・学園会作成の「幸せの道」を踏まえ、安心して学べる共感・支持的文化
<p>めざす授業の姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ?」「わからん、教えて!」「やった、わかった、できた!」「もっとやりたい!」などの声がする授業 ・子どもが主体的に学ぶ目的や意欲をもち、達成感や満足感のある授業 ① 多様な学びの選択肢と自己決定できる場を取り入れた授業 ② ポジティブ行動支援を取り入れた授業

Ⅲ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

校番 1	福山市立鞆の浦学園
------	-----------

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る取組状況	プロセス評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	プロセス評価	達成評価	総合評価
2	夢と志を育み、可能性に挑戦するための意欲と学び続ける力を付ける。	★	継続	こども一人一人の学びを最大限に引き出し、一人一人が自らの伸びや成長を実感できる。	<ul style="list-style-type: none"> 多様な学びの選択肢と自己決定できる場を取り入れた授業とポジティブ行動支援を取り入れた授業を行う。 幸せの道の取組をさらに深めるため、代表委員会設立やPBSを取り入れた環境づくりを行い、学級、学園全体で絶えず議論・交流・発信を続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> こどもアンケート「考えることは面白い」「なぜだろう、やってみよう」との肯定的評価85%以上 こどもアンケート「学級は安心だ」「自分の考えは認められている」の肯定的評価85%以上 								
1	「ふるさと鞆・福山」への愛着と誇りを育み、より良い町づくりに貢献できる。	★		よりよい町づくりをキャリア教育と関連付けて考えて、活動を選び行動できる。(自己選択・決定)	<ul style="list-style-type: none"> 一人学びと協働学びの質を高められるように地域やCSとつながる機会を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> こどもアンケート「鞆学」では、自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表するなど学習活動に取り組んでいます」の肯定的評価85%以上 								
1	「学校における働き方改革取組方針」を踏まえ、子ども達と共に自ら挑戦し続ける。	★		個別最適な学びと協働的な学びを推進することや自らの強みを活かすことに取り組みながら、年間を計画的に業務遂行する力を付ける。	<ul style="list-style-type: none"> 「学びが面白い」の深化をめざし、取組の質を高める具体策を実践・交流・発信する。 定時退校日の推進と業務内容の改善を進め、見通しが持てる業務管理を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員一人一人がやりがいをもち、PBSを基盤とした授業づくりを行う。 全職員が、時間外勤務年間360時間以内。 								

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。